

辞書の比較詳細

辞書名	版	合計得点	アイデンティティ	得点	あいみつきり	得点	飽く	得点	演繹	得点	おどろく	得点	シンギュラリティ	得点
大辞林	第四版	17	同一性。 ⇒同一性の語釈は、「あるものが時間・空間を異にしても同じであり続け、変化が見られないこと。①物がそれ自身に対してあって、一個のものとして存在すること。自己同一性。②人間学・心理学で、人が時や場面を越えて一個の人格として存在し、自己を自己として確信する自我の統一を持っていること。自我同一性。主体性。	3	一つの工事について複数の業者から見積もりを出させて比較すること。またその見積もり。(略してあいみつきりという)	2	①同じ状態が続いてもうたぐさだという気持ちになる。②満足する。満喫する。③動詞の連用形の下について、十分に…する、の意を表す。	3	諸前提から論理の規則に従って必然的に結論を導き出すこと。普通一般の原理から特殊な原理や事実を導くことを言う。演繹的推論。②一つの事柄から、他の事柄に異議を押し広げて述べること。	3	①思いがけないことになって、落ち着きを失う。びっくりする。②思い知らされて、感心したり呆れたりする。③はっと気づく。④目が覚める	3	①科学技術が発達し、現在の理論が通用しなくなる時。特に、人工知能が人間の知的能力を超える事象を言う。技術的特異点。②特異点。③特異日	3
広辞苑	第七版	15	①人格における存在証明、または同一性。ある人が一個の人格として時間的・空間的に一貫して存在している認識を持ち、それが他者や共同体からも認められていること。自己同一性。同一性。②ある人や組織が持っている、他社から区別される独自の性質や特徴。	3	注文を出す前に金額などを比較検討するために、複数の業者から提示させる、それぞれの見積もり。	2	①堪能する。十分に体験して満足する。十分だと思ふ。②長すぎたやいになる。もうそれ以上は嫌になる。いやがけです。うんざりする。	3	①意義を押し広げて説明すること。②推論の一種。一定の前提から論理規則に基づいて必然的に結論を導き出すこと。通常は普遍的命題(公理)から個別的命題(定理)を導く形をとる。数学の証明はその典型。	3	①はっとして目が覚める。②注意・関心を呼び起こされる。はっとして気づく。③意外なことになって心が騒ぐびっくりする。また、感嘆する。	3	掲載なし	1
旺文社	第十一版	14	自分とはこのような人間であるという明確な存在意識。自己同一性。	2	費用などを比べて検討するために、いくつかの業者に提示させる概算	2	①満足する②(十分に)いやになる。あきる。	3	①一つのことから他のことへ押し広げて述べること。 ②一般的・普遍的原理から特殊な原理や事実を導き出すこと。	3	①思いもよらないことに心が動揺する。びっくりする。②目が覚める③気がつく	3	掲載なし	1
明鏡	第二版	13	自己が他と区別されて、ほかならぬ自分であると感じられるときの、その感覚や意識を言う。自己同一性。②組織体で、それを他と区別し特徴づけるもの。独自性。	3	複数の業者から見積もりを出させること	2	「飽きる」の古典的な言い方	2	①一般的な前提から、経験に頼らずに論理によって個別の結論を導き出すこと ②一つの事柄から他の事柄へ押し広げて述べること	3	予想しなかったことに出会って心の平穏を失う。びっくりする。	2	掲載なし	1
三省堂	第七版	12	①自分は自分であって他人と違う、ということ。自己同一性。自己証明。個我。②他には代えられない独自性(への帰属意識)。	3	注文を出す前に、金額などを比べるために、複数の業者から見積もりを出させること。またその見積もり、あいみつきり	2	(同じことが続いて)いやになる。あきる。	2	一般の原理から一つ一つの事柄を推論すること。	2	意外なことになって心の落ち着きを失い。びっくりする。	2	掲載なし	1
岩波	第八版	12	それが他と異なる、まさにそのものであるということ。自己同一性。	2	掲載なし	1	これでもう十分だと感じる満ち足りる。飽きる	3	①普遍的命題から特殊命題を導き出すこと。一般的に、組み立てた理論によって、特殊な課題を説明すること②敷衍してのべること。	3	思いがけない出来事や状態に、こころが騒ぐ。びっくりする。	2	掲載なし	1
ベネッセ新修国語辞典	第2版	12	掲載なし	1	掲載なし	1	満足する。または十分すぎたやいになる。現代ではあまり使われないという意味のアイコンが付される。	3	①ある理論を、広くほかのものごとにあてはめてのべること。敷衍②論理學で、すでに認められている一般的な原理を使って、ある特定の事柄を論理的に導き出すこと。	3	突然思いがけないことに出会ってびっくりする。別ページのコラムで「はっと気づく」「目が覚める」の意味を詳しく説明。	3	掲載なし	1
新明解	第七版	11	自分という存在の独自性についての自覚	2	掲載なし	1	①十分満足する ②飽きる	3	一般的な原理から論理の手続きを踏んで個々の事実や命題を推論すること(⇨帰納)	2	①意外なことを見聞して心が強く動揺する。また、その結果平穏を失ったりどう判断すべきか戸惑ったりする。②素晴らしい事柄に接し、高揚した気分になる③事態の異常なことを察知して、とっさに対応しようとする。	2	掲載なし	1
学研常用国語辞典	第三版	9	①自身による自己認識。自己同一性。②身元。素性。	2	掲載なし	1	掲載なし	1	一般的な事柄から特殊なことを導き出すこと	2	びっくりする	2	掲載なし	1